

平成29年度

ふじさんミュージアムで

# 富士山學

受講無料

専門の講師を招いて、富士山の深〜い話を伺います。

時間:各回とも 午後1時30分～3時(予定)

会場:ふじさんミュージアム会議室(山梨県富士吉田市上吉田 2288-1)

対象:どなたでも

定員:80名(申込不要・当日受付・先着順)

## 「伊勢・志摩の富士山信仰」

1/28  
日

講師

鳥羽郷土史会会員

江崎 満 氏

三重県の伊勢・志摩地域には、富士山に見立てられた山が多くあります。その山頂には富士山の本尊である大日如来が祀られ、「浅間さん」「大日さん」と親しみを込めて呼ばれ、地元の人々の信仰を集めてきました。また、地域ごとに講をつくりお金を積み立てて富士山に登ることも盛んに行われてきました。

今も続くこの西日本を代表する富士山信仰について紹介します。

## 「富士山の中腹巡り『御中道』の歴史」

2/10  
土

講師

ふじさんミュージアム  
学芸員

篠原 武

富士山の中腹、標高 2,300～2,800m 地点を周回するルートを御中道といい、江戸時代から昭和時代まで富士講の大切な修行地とされてきました。また、御中道が通る五合目は、平安時代から山頂と同じく重要な信仰拠点となってきました。

この御中道の信仰の歴史とルートの変遷を紹介します。

## 「橋屋勘右衛門日記にみる富士山御師の暮らし」

3/11  
日

講師

富士吉田市文化財審議委員

菊池 邦彦 氏

御師「橋屋」の当主が記した橋屋勘右衛門日記は、1667～1702年の出来事を記す本市に残る最古の日記です。橋屋は医者でもあったことから、日記には御師として富士講を自宅に迎えるとともに患者の求めに応じて毎日のように診察に行く様子が記されています。

この日記を紐解き、江戸時代の御師の暮らしをみていきます。

お問合せ



ふじさんミュージアム 0555-24-2411